

Tajima Shinkin Bank

《たしん》の現況

2011.9

中間期レポート

たんしんは、皆様に経営内容や活動についてより一層ご理解頂き、安心してお取引頂けますよう、平成23年度上半期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)における主な経営状況についてご報告申し上げます。

損益の状況

平成23年9月期決算は、資金の効率的な運用と経営全般の合理化に努めましたが、コア業務純益は、3億13百万円と昨年より減益となりました。当期純利益も4億6百万円と、減益となりました。これは資金運用収益の減少等によるものです。引続き安定的な収益確保により経営基盤の強化に努めてまいります。

(単位:百万円)

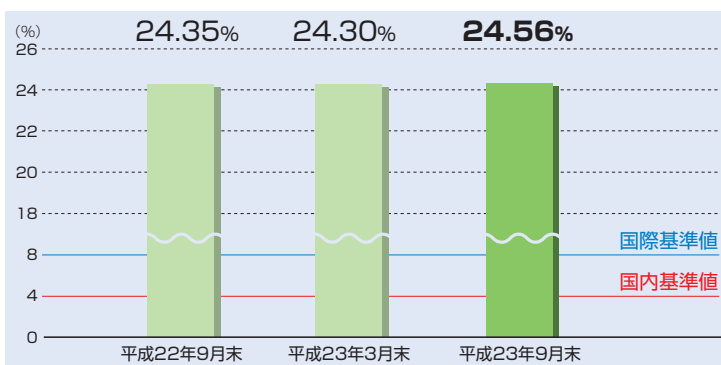
	平成22年9月末	平成23年9月末
業務純益	704	702
コア業務純益	383	313
経常利益	636	604
当期純利益	461	406

*コア業務純益は金融機関本来の業務から生ずる収益力を表すもので、業務純益から一時的な変動要因である債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

自己資本の状況等について

自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の経営の健全性を示す主要な指標の一つとされ、当金庫は、お客様に安心してお取引頂くため、自己資本の充実、自己資本比率の向上に努めております。平成23年9月末の自己資本比率は24.56%で、引き続き高水準を維持することができました。この数値は、早期是正措置で義務付けられている国内基準(4%)を大幅に上回っております。また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示しております。



*平成21年3月末から24年3月末までの間は、金融機関に対し「自己資本比率規制の一部を弾力化する特例」が適用されています。(弾力化適用前の基準では、平成22年9月末は変動なし、平成23年3月末は23.81%、23年9月末は変動ありません。)

自己資本の構成に関する事項

自己資本調達手段の概要

- 自己資本を構成する主なものは、基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)です。
- 基本的項目は会員の皆様からお預かりしている出資金や、当金庫が積み立てている特別積立金があります。

その他有価証券で評価損がある場合はこれを控除することとなっていますが、平成23年3月末は自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、平成23年9月末はその他有価証券の評価差損はございません。

(自己資本比率規制の一部弾力化の適用は、平成21年3月期決算から平成24年3月期決算までの間です。)
- 補完的項目を構成する主なものは、一般貸倒引当金と偶発損失引当金です。

(単位:百万円)

項目	平成23年3月末	平成23年9月末
(自己資本)		
出資金	853	851
利益準備金	865	865
特別積立金	33,800	33,800
次期繰越金	1,055	1,462
処分未済持分	△ 3	△ 2
その他有価証券の評価差損	-	-
基本的項目(A)	36,571	36,976
一般貸倒引当金	569	547
補完的項目(B)	569	547
自己資本総額[(A)+(B)](C)	37,140	37,524
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	2,700	2,700
負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの	-	-
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	2,700	2,700
控除項目不算入額	△ 2,700	△ 2,700
控除項目計(D)	-	-
自己資本額[(C)-(D)](E)	37,140	37,524
(リスク・アセット等)		
資産(オン・バランス項目)	139,023	138,847
オフ・バランス取引項目	3,668	3,751
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	10,144	10,144
リスク・アセット等計(F)	152,835	152,743
単体Tier1比率(A/F)	23.92%	24.20%
単体自己資本比率(E/F)	24.30%	24.56%

(注)1. 信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会その保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係わる算式に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2. 平成23年3月末の自己資本比率については、「その他有価証券評価差損」の額(748百万円)を控除して計算した場合、23.81%となります。

● 自己資本の充実度に関する事項

自己資本の充実度に関する評価方法の概要

- 自己資本の充実度に関し、自己資本比率は国内基準の4%を大幅に上回っております。
また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示すものとなっております。
- 特定のポートフォリオ・リスク・アセットが極度に集中することなく、リスクの分散を図っております。
- 自己資本充実策については、年度毎に掲げる諸計画に基づいた業務活動から得られる利益を着実に積上げることに重点を置いております。
- 自己資本の充実度に関する評価については、当金庫が整備している統合的なリスク管理態勢の下、リスク資本配賦を実施しております。
具体的には、信用リスク・市場リスク・オペレーショナルリスクの3つのリスクに対して各々資本配賦を行い、計量化したリスク量が配賦したリスク資本の枠内にコントロールできるよう運営を行っております。また、自己資本の充実度に関する評価方法は、統合的に把握したリスクがすべて同時に顕在化した場合を想定し、現在の自己資本から差し引き、リスク顕在化後の自己資本比率を計算しております。現状、計算した自己資本比率は国内基準4%を大幅に上回っており、経営の健全性・安全性を十分保っていただける水準であると自己評価しております。

(単位:百万円)

項 目	平成23年3月末		平成23年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	142,691	5,707	142,599	5,703
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	142,689	5,707	142,599	5,703
現金	-	-	-	-
我が国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-
外国の中央政府及び中央銀行向け	18	0	16	0
国際決済銀行等向け	-	-	-	-
我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-
外国の中央政府以外の公共部門向け	14	0	11	0
国際開発銀行向け	0	0	0	0
地方公共団体金融機構向け	109	4	430	17
我が国の政府関係機関向け	1,109	44	1,407	56
地方三公社向け	-	-	-	-
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	35,528	1,421	34,996	1,399
法人等向け	47,469	1,898	47,987	1,919
中小企業等向け及び個人向け	25,000	1,000	24,901	996
抵当権付住宅ローン	6,957	278	7,043	281
不動産取得等事業向け	10,132	405	9,464	378
三月以上延滞等	2,510	100	2,037	81
取立未済手形	6	0	7	0
信用保証協会等による保証付	689	27	639	25
株式会社企業再生支援機構による保証付	-	-	-	-
出資等	3,535	141	2,864	114
上記以外	9,606	384	10,791	431
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-
③複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	2	0	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク	10,144	405	10,144	405
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	152,835	6,113	152,743	6,109

(注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」～「地方三公社向け」、「金融機関および第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことで、

4. オペレーショナルリスクの算定方法は、当金庫は基礎的手法を採用しています。

〈オペレーショナルリスク(基礎的手法)の算定方法〉

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

金融再生法開示債権の状況

金融再生法では、全ての債権(貸出金のほかに債務保証見返、未収収益、仮払金、外国為替)について、回収が懸念される程度を「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」の4つに区分しております。

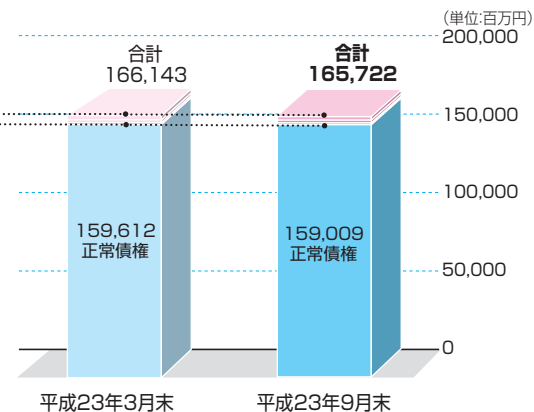
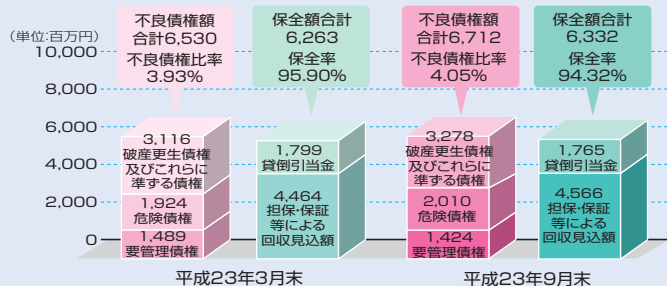
平成23年9月末の回収に懸念があるとされる不良債権残高は、平成23年3月末に比べ182百万円増加し、6,712百万円となり、金融再生法上の不良債権比率は、0.12ポイント上昇(悪化)し、4.05%となりました。

なお、不良債権については担保・保証や貸倒引当金で94.32%を保全していることに加え、正常債権に対しても別途貸倒引当金を計上しており、不良債権に対して万全の対応をとっております。

区分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額(c)		貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
金融再生法上の不良債権	平成23年3月末	6,530	6,263	4,464	1,799	95.90	87.06	
	平成23年9月末	6,712	6,332	4,566	1,765	94.32	82.25	
	増減	182	68	101	△ 33	△ 1.58	△ 4.81	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成23年3月末	3,116	3,116	1,932	1,184	100.00	100.00	
	平成23年9月末	3,278	3,278	2,037	1,241	100.00	100.00	
	増減	161	161	104	56	0.00	0.00	
危険債権	平成23年3月末	1,924	1,657	1,110	546	86.11	67.15	
	平成23年9月末	2,010	1,629	1,178	451	81.05	54.26	
	増減	86	△ 27	67	△ 94	△ 5.06	△ 12.89	
要管理債権	平成23年3月末	1,489	1,489	1,421	68	100.00	100.00	
	平成23年9月末	1,424	1,424	1,351	72	100.00	100.00	
	増減	△ 65	△ 65	△ 70	4	0.00	0.00	
正常債権	平成23年3月末	159,612						
	平成23年9月末	159,009						
	増減	△ 603						
合計	平成23年3月末	166,143						
	平成23年9月末	165,722						
	増減	△ 420						

金融再生法による債務者区分毎の開示額

不良債権と保全の状況



有価証券の時価情報

有価証券の運用は安全性を考慮し、国内債券中心で行っています。

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	平成23年3月末			平成23年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	3,016	3,057	41	3,015	3,139	123
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	900	917	17	1,899	1,924	24
	小 計	3,916	3,975	58	4,915	5,063	148
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	21,404	19,094	△ 2,309	18,303	16,313	△ 1,989
	小 計	21,404	19,094	△ 2,309	18,303	16,313	△ 1,989
合 計	25,320	23,069	△ 2,251	23,218	21,377	△ 1,840	

その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成23年3月末			平成23年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	34	34	0	24	24	0
	債券	67,404	66,737	666	108,677	106,984	1,693
	国債	10,917	10,886	30	14,569	14,429	139
	地方債	15,603	15,458	145	32,068	31,420	647
	社債	40,882	40,392	489	62,039	61,133	905
	その他	906	900	6	1,307	1,300	7
小 計	68,344	67,671	673	110,009	108,308	1,700	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	716	856	△ 140	454	588	△ 134
	債券	66,251	67,416	△ 1,165	38,797	39,221	△ 424
	国債	34,570	35,284	△ 714	28,152	28,522	△ 369
	地方債	12,436	12,629	△ 192	1,593	1,599	△ 6
	社債	19,244	19,503	△ 258	9,051	9,100	△ 48
	その他	3,705	4,161	△ 456	2,711	3,256	△ 545
小 計	70,672	72,434	△ 1,762	41,963	43,067	△ 1,104	
合 計	139,017	140,106	△ 1,089	151,972	151,375	596	

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

4. 当金庫には、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式はございません。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成23年3月末	平成23年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	24	24
組 合 出 資 金	6	6
合 計	30	30

預金・貸出金の状況

● 預金の状況

預金残高は、平成23年3月末に比べ定期性預金は14億4千万円減少しましたが、流動性預金が24億3百万円増加したことにより、預金全体では9億53百万円増加しました。

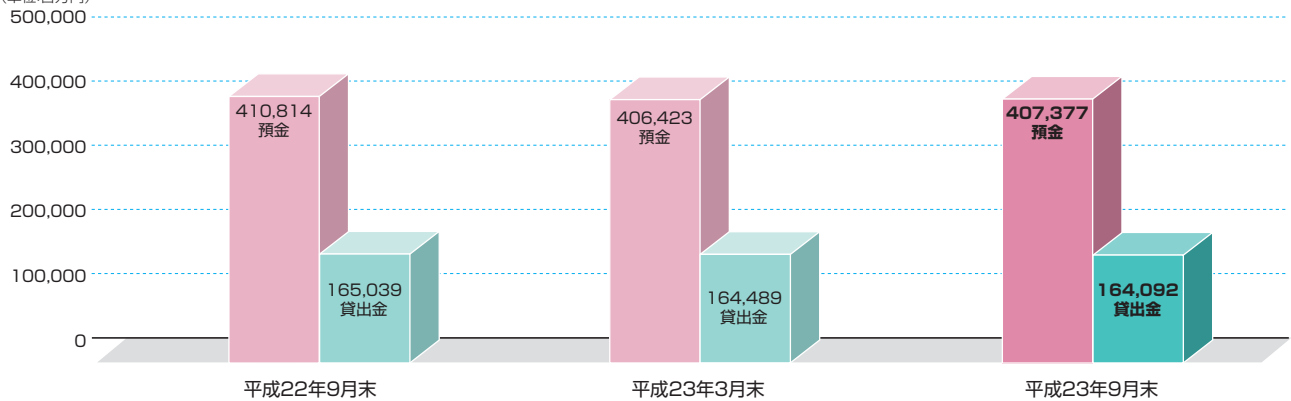
● 貸出金の状況

たしはは、裾野金融に徹し、地元で資金を必要とするお客様に融資を行うことにより、事業の健全な維持、繁栄および豊かなライフスタイル実現へのお手伝いに努めております。しかし、依然として地域経済の現況は厳しく、平成23年3月末に比べ、事業性融資は21億90百万円減少し、また貸出金全体でも、3億97百万円減少しました。

(単位:百万円%)

	平成22年9月末 残高	22年3月末 対比増減率	平成23年3月末 残高	22年9月末 対比増減率	平成23年9月末 残高	23年3月末 対比増減率
預金	410,814	2.52	406,423	△ 1.06	407,377	0.23
貸出金	165,039	△ 2.59	164,489	△ 0.33	164,092	△ 0.24

(単位:百万円)



● 貸出金の業種別内訳

地域のお客様からお預かりした大切な資金(預金)は、地域経済の発展、繁栄のお手伝いをするため、特定のお取引先や業種、地域に偏ることなく、幅広くご利用いただくよう心掛けております。

(単位:百万円)

業種	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
製造業	11,713	13,014	11,559
農業、林業	358	339	330
漁業	15	4	2
鉱業、採石業、砂利採取業	11	9	7
建設業	20,923	21,075	20,488
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	403	436	475
運輸業、郵便業	948	1,124	1,046
卸売業、小売業	13,964	13,702	13,705
金融業、保険業	5,866	5,889	5,879
不動産業	10,928	12,707	12,742
物品賃貸業	586	549	562
学術研究、専門・技術サービス業	599	811	883
宿泊業	6,980	6,691	6,708
飲食業	5,084	5,008	4,919
生活関連サービス業、娯楽業	3,564	3,001	3,114
教育、学習支援業	389	360	335
医療・福祉	4,909	4,476	4,429
その他のサービス	2,720	2,534	2,354
小計	89,968	91,737	89,547
地方公共団体	29,712	28,019	30,064
個人(住宅・消費・納税資金等)	45,358	44,732	44,480
合計	165,039	164,489	164,092

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

当金庫は地域経済の活性化や地域社会の発展に寄与できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域・社会貢献活動

公益財団法人たんしん地域振興基金の活動

■「助成先決定」通知書交付式(6月17日)



但馬地域の活性化にお役に立てるよう、地域社会活動や産業活性化活動を行う諸団体に対し、毎年、助成金を交付しています。(今年度は7団体に182万円を助成。)

■「たんしん経営塾」第11期開講式を開催(9月14日)



但馬地域の産業の明日を担う若手経営者の育成をお手伝いするために「たんしん経営塾」を開講し、定期的な勉強会と異業種交流を図っています。また、講座修了

者の継続的な交流と相互啓発の場としてOB会を組織し、現在約160名が会員となっています。

※公益法人の制度改革に伴い、財団法人たんしん地域振興基金は平成23年10月3日付で「公益財団法人たんしん地域振興基金」へ移行登記しました。

経済講演会、経営者セミナー、各種経営相談の実施

■経営者セミナーの開催(8月9日)

「カリスマ販売員の自配り・気配り・こころ配り」

講師：日本レストランエンタプライズ アドバイザー
カリスマ・アテンダント 齋藤 泉氏

山形新幹線の車内販売員として定員400人の車内で片道187個の駅弁を販売したという記録保持者で、顧客目線での気づきや発想、発見など、経営上のヒントになるセミナーを実施しました。



■経済講演会の開催(9月2日)

「今だからこそ世界最先端に生まれ変わろう-金子勝の日本復興計画」

講師：金子 勝氏(慶應義塾大学経済学部教授)

東日本大震災の現状を踏まえ、将来のわが国のあり方、但馬地域の将来を考える上でのヒントとなるテーマで専門家の考えを聴く機会を設けました。



■経営相談の実施(随時受付)

経営者の方々の様々な悩みのお申し出に、中小企業診断士等がサポートさせていただきます。経営相談のほか、財務診断、従業員意識調査、事業承継診断、経営シミュレーション、従業員向けセミナーなどの経営改善支援を随時実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

CSR(企業の社会的責任)活動の推進

■「地球温暖化防止」への取り組み

地球温暖化防止の取り組みとして、クールビズやウォームビズ等を実施して、冷暖房時の設定室温を統一しています。

なお、東日本大震災の影響による電力不足に対応し、更なる節電に取り組んでいます。

■AED(自動体外式除細動器)の店外設置

来店者や通行者の心臓発作等、心停止状態の緊急事態に備え、AEDを平成19年11月から全店の店舗内に設置していましたが、休日や営業時間外でも必要な人が使用できるよう、平成23年8月2日より19店舗でATMコーナーへ移設し、本店営業部では店舗入り口横の屋外に設置しました。

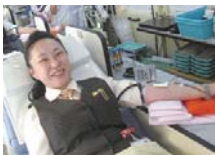


■「コウノトリ基金」の寄付活動に協力

地域の環境保全や但馬地域振興のシンボルであるコウノトリの野生復帰事業に賛同し、職員用飲料水自動販売機の売上高の一部を「豊岡市コウノトリ基金」へ寄付する活動を行っています。

■「献血」や「清掃作業」の奉仕活動

毎年、地域の事業である「献血」活動への協力や、全店一斉に地域の清掃作業を実施しています。また、地域のまつりへの協賛や参加をしています。



金融犯罪への対応について

近年、口座の不正開設・不正利用やキャッシュカードの盗難・偽造、「振り込め詐欺」等により、不正に預金を引き出す犯罪が多発しています。詐欺等に遭われないよう十分ご注意ください。

万一、被害に遭われたお客様は、直ちに警察等の捜査機関に連絡いただくとともに、振込み先の金融機関へご連絡ください。

※詳細については、「預金保険機構」のホームページをご覧ください。
(<http://www.furikomesagi.dic.go.jp/>)

金融円滑化および苦情対応・紛争解決措置等に向けた取組み

景気の低迷が続く中で、資金繰りが厳しい中小企業や住宅ローンの返済が困難になった個人のお客様から、借入金の返済猶予等、貸付条件の変更等の申込みがあった場合には、お客様の抱えている問題を十分にお聞きし、解決に向けて迅速且つ真摯に取り組んでいます。

当金庫では、金融円滑化に関する相談窓口を全店に設置し、本部には休日相談と苦情相談窓口に専用電話を設置しております。当金庫のほか、下記の「全国しんきん相談所」および「兵庫県弁護士会 紛争解決センター」でも、苦情等の申し出を受付けています。

～お客様相談窓口のご案内～

■金融円滑化の苦情・相談窓口

フリーダイヤル 0120-114-450 (受付時間 平日 9:00~18:00)

■通常のご意見・要望・苦情・相談窓口

フリーダイヤル 0120-839-939 又は 0796-23-1209
(受付時間 平日 8:40~18:00)

■「全国しんきん相談所」(社全国信用金庫協会内)の相談窓口

03-3517-5825 (受付時間 平日 9:00~17:00)

■「兵庫県弁護士会 紛争解決センター」の相談窓口

078-341-8227 (受付時間 平日 9:00~17:00)

商品・サービスのご案内

■「ウインターキャンペーン」の取扱い(平成24年1月31日まで)

個人のお客様向けに3年と1年の定期預金を特別金利で、お預かりします。(ただし、ご継続後の金利は、継続時の店頭表示金利が適用されます。)

金利(税引前) : 3年 0.33%
: 1年 0.20%

*ATMでのお預入れの場合は更に年0.02%アップ
預入金額:10万円以上1,000万円未満

■お子様の就学、車に関する費用、あらゆる消費資金等に、

「進学ローン」
「マイカーローン」
「スピードローン」等、
資金需要に応じた商品を取り揃えております。



■住宅の新築・購入・増改築、エコ等の設備資金、介護機器購入等に

「住宅ローン」「リフォームローン」「リフォームローン 快適ライフII」等、お客様のライフサイクルや様々なニーズにお応えできるよう、各種取揃えております。

*子育て世帯の方、エコ住宅にされる方、住宅支援機構ご利用の方、お取引状況に応じて、当金庫基準金利より一定の金利を引き下げしております。

店舗移転オープンのお知らせ

下記2店舗を移転して、店内のロビーとATMコーナーを広く取り、ゆとりを感じられる造りとし、全自動で安全な貸金庫や夜間金庫を備えるなど、店舗機能を充実させました。

■「豊岡北支店」(10月24日オープン)

場 所：豊岡市船町334-1
ATM利用時間：平 日 8:00~21:00
土・日・祝日 8:45~20:00



■「豊岡西支店」(11月21日オープン)

場 所：豊岡市高屋1040-1
ATM利用時間：平 日 8:00~20:00
土・日・祝日 8:45~18:00



 但馬信用金庫

〒668-8655 兵庫県豊岡市中央町17番8号 Tel.0796-23-1200

<http://www.tanshin.co.jp/>